
2 基本計画評価

■基本計画評価の見方

大分類	市民意向調査結果（（ ）内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位）			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
番号 施策名	○% (↑○%)	○% (↑○%)	○% (↓○%)	○% [○位]

■市民意向調査結果

■市川市の市政に関する市民アンケート

問2 市の施策や事業についてお伺いします。

【②施策の満足度】

実施計画事業の取り組み状況などを踏まえ、市のそれぞれの「施策」(分野)について、満足していますか？

(例)

【②施策の満足度】					
施策	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
保健・医療	○				

問3の1 今後、『真の豊かさを感じるまち』の実現にむけ、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）はどのような分野ですか。（3つまで回答欄に番号を記入）

(例)

回答欄	1 保健・医療（地域の医療環境整備、健康づくり、疾病や感染症の予防）	2 子育て（児童虐待防止、ひとり親支援、待機児童解消、地域の子育て支援）
	3 地域福祉（地域の支えあい、地域への参加と交流の体制づくり）	4 障害者福祉（障害者の就労支援、生活支援、自立のための医療支援）
	5 高齢者福祉（介護予防、高齢者の就労支援、在宅生活支援サービス）	6 社会保障・住まい（国民年金、国民健康保険、生活保護、市営住宅）
	7 スポーツ（スポーツ施設の整備、スポーツ指導者の育成）	8 子どもの教育（学校教育、家庭教育、放課後保育クラブ）
	9 生涯学習（生涯学習機会の提供、図書館、公民館）	10 雇用・労働（就労のための相談支援、就労機会の拡充）
	11 消費生活（消費者への情報提供、消費者被害の相談）	12 人権・男女共同参画（ワークライフバランスの推進、DV等の被害救済）
	13 平和（平和啓発活動）	

○満足・不満足・わからない又はどちらともいえない

：市川市の市政に関する市民アンケート 問2 【②施策の満足度】において、満足は『満足』『やや満足』と回答した割合、不満足は『不満』『やや不満』と回答した割合、わからない又はどちらともいえないは『わからない又はどちらともいえない』と回答した割合。また、（ ）内は、第一次実施計画を評価するために実施した市民意向調査結果からの増減（↑は増、↓は減）。

○今後重点すべき施策

：市川市の市政に関する市民アンケート 問3において、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）として回答した割合。また、[○位]は、基本目標ごとの調査結果の順位。

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
00,000	00,000	00.0%	番号 事業名	A	A	A

■事業費

○計画額（千円）

：第二次実施計画で計画されている3年間の事業費を施策の大分類ごとに合計した金額

○実績額（千円）

：実施計画事業にかかる平成26,27年度は決算額、平成28年度は当初予算額を施策の大分類ごとに合計した金額

○執行率

：実績額／計画額×100%

■（参考）実施計画事業 達成状況等

○数値目標等比較

：各実施計画事業について、数値目標等の計画と実績を比較し、4段階（A、B、C、D）で評価を表記したもの。※詳細については、P47を参照。

○事業費比較

：各実施計画事業について、事業費の計画と実績を比較し、4段階（A、B、C、D）で評価を表記したもの。※詳細については、P47を参照。

○市民意向調査結果

：各実施計画事業について、『市川市の市政に関する市民アンケート（平成28年度） 問2【①実施計画事業の取り組み状況】』の調査結果から、4段階（A、B、C、D）で評価を表記したもの。※詳細については、P47を参照。

	事業費比較	数値目標等比較	市民意向調査結果
A	90%以上	90点以上	79事業の平均+10ポイント以上
B	90%未満 80%以上	90点未満 80点以上	79事業の平均以上 79事業の平均+10ポイント未満
C	80%未満 70%以上	80点未満 70点以上	79事業の平均-10ポイント以上 79事業の平均未満
D	70%未満	70点未満	79事業の平均-10ポイント未満

2 基本計画評価

基本目標 1 真の豊かさを感じるまち

基本目標 1 真の豊かさを感じるまち

施策の方向 1

健康で安心して暮らせる、地域福祉の充実したまちをつくります

- (大分類) 1 保健・医療
- (大分類) 2 子育て
- (大分類) 3 地域福祉
- (大分類) 4 障害者福祉
- (大分類) 5 高齢者福祉
- (大分類) 6 社会保障・住まい
- (大分類) 7 スポーツ

施策の方向 2

豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てます

- (大分類) 8 子どもの教育

施策の方向 3

生きがいを見いだし、いきいきとした生涯学習社会をつくります

- (大分類) 9 生涯学習

施策の方向 4

誰もが安心して働くことができる環境をつくります

- (大分類) 10 雇用・労働
- (大分類) 11 消費生活

施策の方向 5

人権を尊重し、世界平和に貢献します

- (大分類) 12 人権・男女共同参画
- (大分類) 13 平和

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
1 保健・医療	72.6% (↑11.3%)	20.9% (↑3.3%)	6.4% (↓14.7%)	52.8% [1位]
2 子育て	47.9% (↑8.3%)	41.1% (↑11.0%)	11.0% (↓19.3%)	48.0% [2位]
3 地域福祉	64.7% (↑22.7%)	23.9% (↓2.8%)	11.4% (↓19.9%)	16.0% [7位]
4 障害者福祉	63.0% (↑25.3%)	24.8% (↓2.8%)	12.1% (↓22.7%)	10.8% [8位]
5 高齢者福祉	60.4% (↑23.9%)	28.9% (↓5.4%)	10.7% (↓18.5%)	42.6% [3位]
6 社会保障・住まい	44.0% (↓3.4%)	39.9% (↑13.1%)	16.1% (↓9.7%)	33.6% [4位]
7 スポーツ	35.0% (↓15.7%)	50.4% (↑23.2%)	14.5% (↓7.6%)	5.8% [11位]
8 子どもの教育	67.1% (↑17.9%)	20.9% (↓0.8%)	11.9% (↓17.2%)	28.1% [5位]

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
4,500,769	3,843,761	85.4%	01 予防接種事業	B	B	A
1,444,686	1,908,436	132.1%	02 児童虐待対策事業	A	A	B
			03 子育てナビ事業	A	A	B
			04 保育園整備計画事業	A	A	D
			05 私立保育園等一時預かり 及び特定保育事業	D	B	D
41,775	44,493	106.5%	06 地域ケアシステム推進事業	A	A	B
13,089,058	12,109,491	92.5%	07 障害者雇用事業	A	A	B
			08 自立支援給付事業 (介護給付費・訓練等給付費)	A	A	B
202,329	154,114	76.2%	09 介護予防推進事業	A	C	C
814,044	610,846	75.0%	10 市営住宅営繕事業	D	C	D
			11 生活保護受給者就労支援事業	A	A	C
6,465	4,960	76.7%	12 スポーツ指導者育成事業	D	C	D
65,625	63,636	97.0%	13 コミュニティクラブ事業	A	B	A
			14 家庭教育学級運営事業	A	A	A
			15 校内塾・まなびくらぶ事業	A	A	A
			16 学校支援実践講座事業	A	B	B

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
9 生涯学習	68.7% (↑9.1%)	20.1% (↑1.6%)	11.1% (↓10.8%)	10.5% [9位]
10 雇用・労働	58.6% (↑27.7%)	30.8% (↓11.8%)	10.6% (↓15.9%)	21.9% [6位]
11 消費生活	66.9% (↑15.7%)	20.8% (↓0.9%)	12.3% (↓14.8%)	8.7% [10位]
12 人権・男女共同参画	67.1% (↑22.9%)	19.9% (↓2.6%)	13.0% (↓20.4%)	2.7% [13位]
13 平和	65.0% (↑11.4%)	20.4% (↑1.5%)	14.6% (↓12.9%)	4.4% [12位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
35,067	31,114	88.7%	17 公民館主催講座活動事業	A	B	A
			18 いちかわ市民アカデミー 講座事業	A	A	A
122,712	141,216	115.1%	19 雇用促進事業	B	A	D
			20 シルバー人材センター事 業	A	A	B
44,661	50,254	112.5%	21 消費生活センター相談及 び啓発事業	A	A	B
41,644	43,186	103.7%	22 市川市DV対策事業	A	A	B
			23 男女共同参画センター講 座事業	A	A	A
13,460	13,358	99.2%	24 平和啓発事業	A	A	B
20,422,295	19,018,865	93.1%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標 1 に位置付けられた施策の大分類に対する「満足している」割合は、平成 25 年度におこなった前回調査よりも『6 社会保障・住まい』『7 スポーツ』を除き、概ね 10 ポイント以上上昇する結果となった。

このうち『3 地域福祉』『4 障害者福祉』『5 高齢者福祉』『10 雇用・労働』『12 人権・男女共同』において、「満足している」割合が 20 ポイント以上上昇しており、事業の推進等によって施策に対する市民の満足度が向上していることが伺える。

また、施策に対する「満足している」割合は、概ね 60%以上となったが、『2 子育て』『6 社会保障・住まい』『7 スポーツ』において 30~40%代となり、全体の満足度と比較して低い傾向となった。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標 1 の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『1 保健・医療』『2 子育て』『5 高齢者福祉』の順に高く、推進すべきという回答が 40%以上となった。

特に、『2 子育て』については、現在の満足度が約 48%と全体より低い結果となったことから、今後さらに推進が必要という市民の意向があることが確認できた。

一方で、『1 保健・医療』については、現在の満足度が約 73%と非常に高い結果となっているが、今後さらに推進すべきという市民の意向もあることが分かった。

■事業費

【全体の傾向】

基本目標 1 全体での執行率は、93.1%と概ね計画通りの執行となった。

このうち『2 子育て』において執行率 132.1%と、計画を大きく超える事業費により事業が推進された。

一方で、『5 高齢者福祉』『6 社会保障・住まい』『7 スポーツ』において執行率が 75%前後と、計画を下回った。

【事業費が高くなった施策】

『2 子育て』において、待機児童対策として、当初の計画を大きく上回る定員を確保するよう保育園の整備を行ったことなどから、事業費が当初の計画を大きく上回った。

【事業費が低くなった施策】

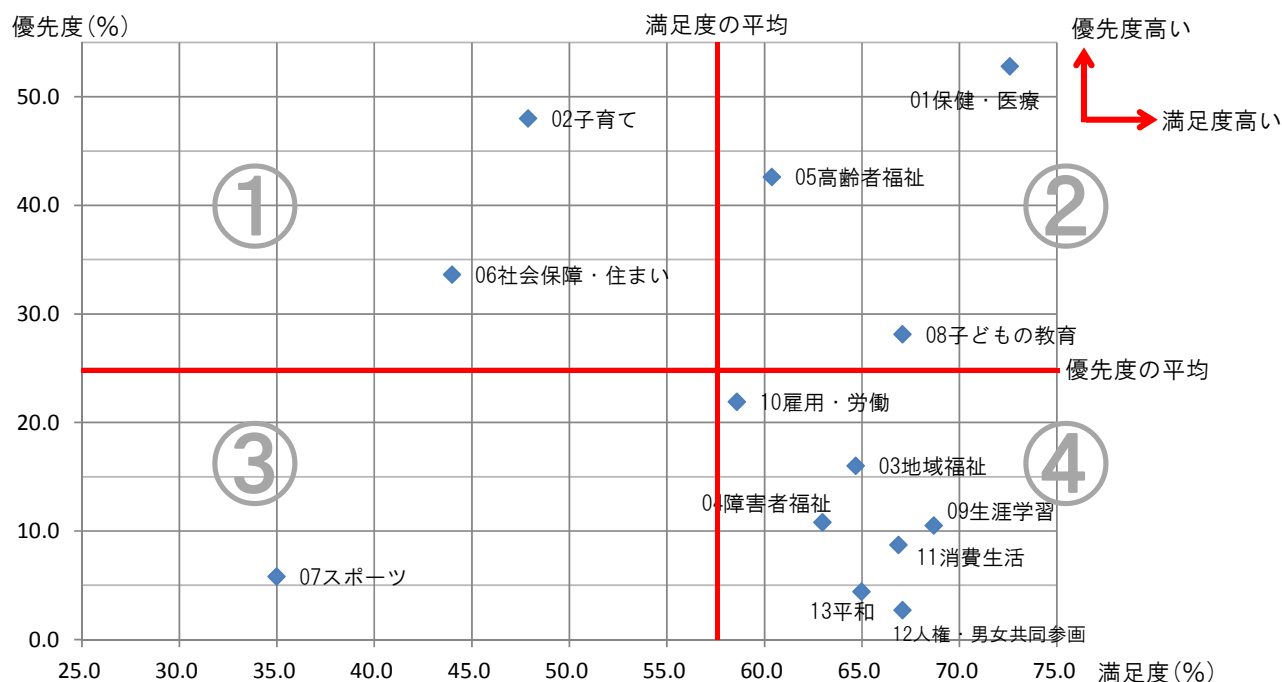
『5 高齢者福祉』において、介護予防推進事業として行っていたものが、介護保険法の改正により、二次予防事業（通所および訪問介護予防事業）を廃止し、組み換えたこと、

また、『6 社会保障・住まい』において、市営住宅の営繕を緊急性や老朽化の程度を勘案し実施したこと、

また、『7 スポーツ』において、スポーツ指導者の育成にかかる講習会の参加者が当初の見込みに到達しなかったことなどから、事業費が当初の計画を下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図1 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策の満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

- 満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%
- 優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先度が高い）】

『2 子育て』については、第二次実施計画において、保育園整備を中心に事業を推進しており、この3年間で満足度が向上してはいるが、それでも現在の満足度は低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。

このため、第三次実施計画では、さらに重点的に、事業を推進していく必要があるといえる。

『6 社会保障・住まい』については、第二次実施計画において、事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

また、今後重点的に推進すべきという市民の意向は比較的高いことから、第三次実施計画では、引き続き、計画にもとづき着実に推進する必要があるといえる。

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先度も高い）】

『1 保健・医療』『5 高齢者福祉』『8 子どもの教育』については、現在の満足度は比較的高い結果となっているが、一方で、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。少子高齢化の進展に備え、事業の充実を図っていく必要があるといえる。

【エリア③（現時点で施策の満足度が低い、今後の優先度も低い）】

『7 スポーツ』については、第二次実施計画において、事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

一方で、今後重点的に推進すべきという市民の意向は低いことから、市民ニーズや行政課題への対応を見極めながら事業展開を検討していく必要があるといえる。

【エリア④（現時点で施策の満足度が高いので、今後の優先度が低い）】

『11 消費生活』『12 人権・男女共同参画』『13 平和』については、現在の満足度が高いこともあって、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が低い施策となった。

<p>■基本目標 1 真の豊かさを感じるまち 3カ年総合評価</p> <p>『真の豊かさを感じるまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費については、多くの施策で計画どおり執行し、基本目標全体でもほぼ計画どおりとなった。 ・市民満足度については、事業の推進等によって、第一次実施計画終了時点よりも概ね向上が図られた。 ・今後は、少子高齢化の進展を受け、『子育て』の分野を特に重点的に取り組む必要があるとともに、『社会保障・住まい』『保健・医療』『高齢者福祉』『子どもの教育』の分野についても、引き続き着実に推進していく必要がある。

基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

施策の方向 1
芸術・文化を身近に感じるまちをつくります

(大分類) 1 4 芸術・文化

施策の方向 2
文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かします

(大分類) 1 5 文化的資産

施策の方向 3
暮らしの中で「まちの文化」を育みます

(大分類) 1 6 文化の創造

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
14 芸術・文化	72.3% (↑17.6%)	16.8% (↓0.7%)	11.0% (↓16.8%)	33.7% [2位]
15 文化的資産	45.0% (↓9.5%)	41.3% (↑23.5%)	13.7% (↓14.0%)	24.0% [3位]
16 文化の創造	71.7% (↑13.4%)	20.5% (↑0.8%)	7.8% (↓14.3%)	36.8% [1位]
				合計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標 2 に位置付けられた施策の大分類に対する「満足している」割合は、全体的に高く、特に『14 芸術・文化』『16 文化の創造』については、70%以上と非常に高い傾向となった。

さらに、『14 芸術・文化』『16 文化の創造』については、平成 25 年度におこなった前回調査よりも概ね 10 ポイント以上上昇する結果となった。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標 2 の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『16 文化の創造』が最も高くなった。

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
1,848,666	1,836,451	99.3%	25「市川の文化人展」等事業	A	A	A
			26 市民会館建替事業	A	A	A
252,532	242,250	95.9%	27 東山魁夷記念館管理運営 事業	C	A	D
134,000	126,661	94.5%	28 花火大会運営費負担事業	A	A	A
			29 市民まつり運営費負担事 業	B	A	B
			30 シティセールス事業 (いちかわ観光・物産案内所運営事業)	A	D	C
2,235,198	2,205,362	98.7%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 事業費

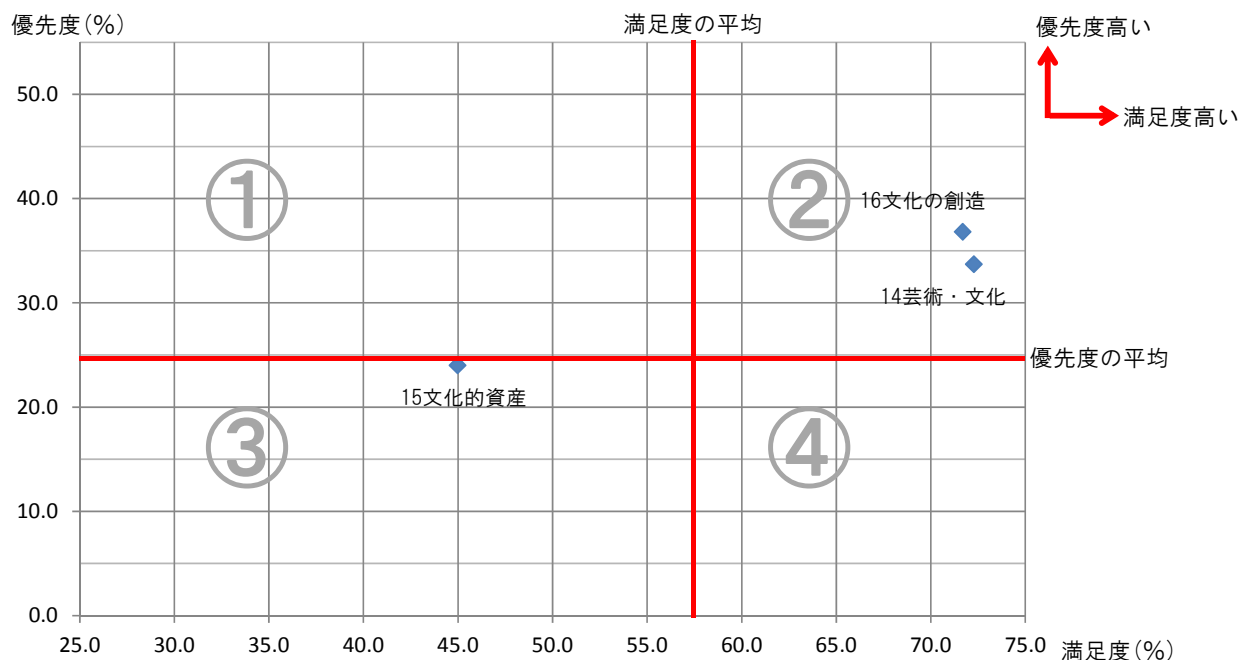
【全体の傾向】

基本目標 2 全体での執行率は、98.7%と計画通りの執行となった。

このうちすべての施策の大分類において、執行率 95%前後と概ね計画通りとなつた。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図2 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策の満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

- 満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%
- 優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先も高い）】

基本目標2に位置付けられた施策の大分類については、計画どおり事業を推進することができたこともあり、概ね満足度が高い傾向となった。

その中でも、『16 文化の創造』については、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が高いことから、新たなまちの文化をつくり、その魅力を発信していく事業などを第三次実施計画で推進していく必要があるといえる。

■ 基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち 3カ年総合評価

『彩り豊かな文化と芸術を育むまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、

- ・事業費については、全ての施策分野で計画どおりの執行となった。
- ・市民満足度については、全ての施策分野において、高い状況にある。
- ・基本目標の実現に向けた取り組み状況が良好ななか、新たな『文化の創造』の取り組みへの市民の期待が高くなっている。

基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち

基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち

施策の方向 1

安全で安心して暮らせるまちをつくります

- (大分類) 1 7 危機管理・消防
- (大分類) 1 8 治水
- (大分類) 1 9 防犯
- (大分類) 2 0 交通安全

施策の方向 2

快適な暮らしを支え、質の高い都市基盤整備を進めます

- (大分類) 2 1 ユニバーサルデザイン
- (大分類) 2 2 道路・交通
- (大分類) 2 3 下水道
- (大分類) 2 4 住宅・住環境
- (大分類) 2 5 公共施設

施策の方向 3

自然、歴史、社会環境などを活かして、バランスのとれた魅力ある土地利用を図ります

- (大分類) 2 6 土地利用
- (大分類) 2 7 景観

施策の方向 4

産業を振興し、活力あるまちをつくります

- (大分類) 2 8 商工業
- (大分類) 2 9 都市農業
- (大分類) 3 0 水産業

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
17 危機管理・消防	60.1% (↑14.1%)	33.3% (↑0.3%)	6.6% (↓14.4%)	51.1% [1位]
18 治水	65.2% (↑11.6%)	26.5% (↓0.7%)	8.4% (↓10.8%)	30.1% [4位]
19 防犯	62.7% (↑13.1%)	30.6% (↓5.6%)	6.7% (↓7.5%)	50.3% [2位]
20 交通安全	32.8% (↓9.0%)	60.5% (↑18.7%)	6.7% (↓9.7%)	29.6% [5位]
21 エンバーサルデザイン	54.5% (↑3.7%)	37.8% (↑9.2%)	7.6% (↓13.0%)	12.5% [7位]
22 道路・交通	43.2% (↓0.1%)	46.8% (↑8.9%)	10.0% (↓8.8%)	32.0% [3位]
23 下水道	53.9% (↑0.4%)	36.1% (↑11.2%)	9.9% (↓11.7%)	19.4% [6位]

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
71,925	43,356	60.3%	31 防災用品備蓄事業	A	D	C
			32 地域防災力強化事業	A	B	C
1,458,905	1,315,875	90.2%	33 都市基盤河川改修事業	A	A	A
			34 排水路整備事業	A	A	B
			35 排水施設整備事業	A	C	B
24,465	20,777	84.9%	36 防犯対策事業	A	B	B
104,415	75,752	72.5%	37 狭あい道路対策事業	C	D	D
			38 自転車安全利用等啓発事業	A	A	D
258,400	283,839	109.8%	39 人にやさしい道づくり重点地区整備事業	A	A	D
1,193,837	286,597	24.0%	40 コミュニティバス運行事業	A	B	B
			41 外環関連街路事業	D	D	D
24,429,944	23,102,992	94.6%	42 公共下水道計画策定事業	A	C	B
			43 下水道施設長寿命化対策事業	A	C	B
			44 アセットマネジメント推進事業	A	B	B
			45 公共下水道整備雨水事業	D	A	D
			46 公共下水道整備汚水事業	A	A	B

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
24 住宅・住環境	40.5% (↓5.7%)	48.1% (↑17.8%)	11.4% (↓12.1%)	11.7% [8位]
25 公共施設	61.1% (↑8.1%)	25.4% (↑2.5%)	13.5% (↓10.6%)	9.0% [10位]
26 土地利用	55.5% (↑11.6%)	27.8% (↑0.5%)	16.7% (↓12.1%)	11.1% [9位]
27 景観	65.7% (↑15.4%)	23.3% (↓0.3%)	11.0% (↓15.1%)	8.6% [11位]
28 商工業	40.4% (↓6.4%)	40.4% (↑16.9%)	19.2% (↓10.5%)	7.4% [13位]
29 都市農業	53.4% (↑4.3%)	31.3% (↑8.1%)	15.4% (↓12.3%)	7.9% [12位]
30 水産業	61.3% (↑19.6%)	20.2% (↓3.5%)	18.5% (↓16.1%)	1.5% [14位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
128,554	102,849	80.0%	47 耐震診断・改修助成事業	A	D	C
			48 あんしん住宅推進事業	A	A	B
			49 空き家対策事業	D	D	D
7,445,689	9,084,381	122.0%	50 庁舎整備事業	A	A	B
			51 公共施設マネジメント推進事業	A	C	A
568,000	559,478	98.5%	52 J R 武蔵野線周辺調査事業	A	A	B
			53 道の駅整備事業	A	A	C
36,230	43,452	119.9%	54 中山参道地区街なみ環境整備事業	A	A	A
			55 都市景観形成事業	A	A	B
			56 ガーデニング・シティいちかわ事業(景観)	A	A	B
37,482	27,100	72.3%	57 企業・産業間連携支援事業	A	A	B
			58 女性起業家支援事業	D	D	D
74,920	70,432	94.0%	59 都市農業振興支援事業	B	A	C
353,000	442,348	125.3%	60 市川漁港整備事業	A	A	B
36,185,766	35,459,228	98.0%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標3に位置付けられた施策の大分類に対する「満足している」割合は、平成25年度におこなった前回調査よりも『20 交通安全』『24 住宅・住環境』『28 商工業』を除き、ほぼ横ばいまたは上昇する結果となった。

また、『20 交通安全』『22 道路・交通』『24 住宅・住環境』『28 商工業』において30～40%代となり、全体の満足度と比較して低い傾向となった。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標3の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『17 危機管理・消防』『19 防犯』『22 道路・交通』『18 治水』の順に高く、推進すべきという回答が30%以上となった。

特に、『17 危機管理・消防』『19 防犯』については、現在の施策の満足度が約60%以上と比較的に高い結果となっているが、一方で、推進すべきという回答も50%以上と非常に高い。

『18 治水』についても同様の傾向が伺えた。

■ 事業費

【全体の傾向】

基本目標3全体での執行率は、98.0%と計画通りの執行となった。

このうち『25 公共施設』において執行率122.0%、『27 景観』において執行率119.9%、『30 水産業』において執行率125.3%と、計画を大きく超える事業費となった。

一方で、『17 危機管理・消防』において執行率60.3%、『20 交通安全』において執行率72.5%、『22 道路・交通』において執行率24.0%、『28 商工業』において執行率72.3%と、計画を大きく下回った。

【事業費が高くなった施策】

『25 公共施設』において、市役所本庁舎の整備にかかる基金の積み立てを当初の予定を超えて行い、将来の負担軽減を図ったことおよび建設工事の進捗にあわせて前払い金の支払い等を当初の計画から前倒しで行ったこと、

また、『27 景観』において、中山参道地区の街なみ環境を整備するために修景費用の一部補助をおこなったが、補助限度額の高い建築物が当初の想定よりも多かったこと、

また、『30 水産業』において、市川漁港の実施設計を行った結果、当初予定していた施設の構造を変更して工事を行う必要が生じたことなどから、事業費が当初の計画を大きく上回った。

【事業費が低くなった施策】

『17 危機管理・消防』において、防災用品の備蓄を推進し、当初の計画した備蓄量を確保しながら備蓄品目の精査を行ったこと、

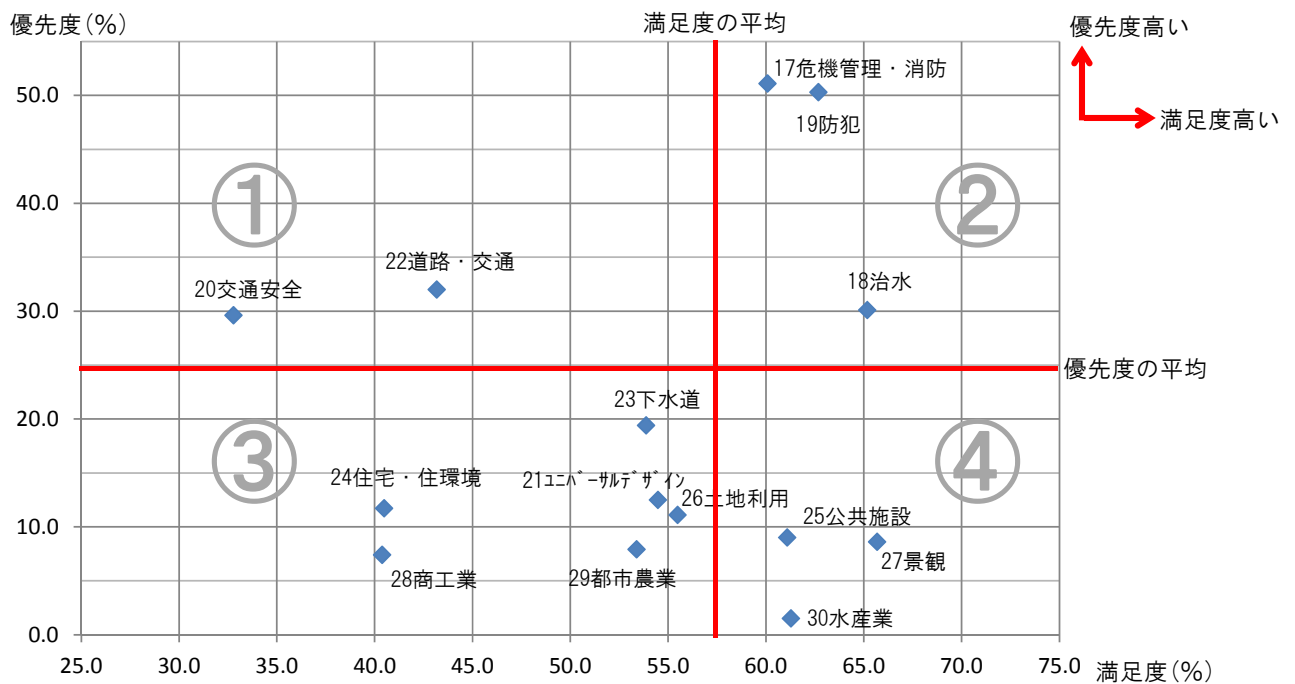
また、『20 交通安全』において、狭あい道路の拡幅による安全性の向上を推進したが、拡幅用地の寄付申請件数が当初の見込みを下回ったこと、

また、『22 道路・交通』において、外環関連街路整備のため用地の購入を行ったが、土地開発公社が代行買収し、その費用を平成 29 年度以降に償還することになったこと、

また、『28 商工業』において、女性をはじめ起業家に対する女性等創業支援補助金の支給をおこなったが、当初の見込みより採択基準を満たす事業が少なかったことなどから、事業費が当初の計画を下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図 3 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策の満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

- 満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%
- 優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先が高い）】

『20 交通安全』『22 道路・交通』については、現在の満足度が低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が高い結果となっている。都市基盤については、道路整備を中心に、引き続き、着実に推進する必要があるといえる。

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先も高い）】

『17 危機管理・消防』『18 治水』『19 防犯』については、現在の市民満足度は比較的高い結果となっているが、一方で、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。安全で安心して暮らせるまちづくりに対する市民のニーズは高く、今後とも必要な事業を推進すべき分野といえる。

【エリア③（現時点で施策の満足度が低い、今後の優先度も低い）】

『24 住宅・住環境』『28 商工業』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

しかし、今後重点的に推進すべきという市民の意向は低いことから、市民ニーズや行政課題への対応を見極めながら事業展開を検討していく必要があるといえる。

【エリア④（現時点で施策の満足度が高いので、今後の優先度が低い）】

『30 水産業』については、現在の満足度が高いこともあって、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が低い施策となった。

■基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち 3 カ年総合評価

『安全で快適な魅力あるまち』の実現に向けた、第二次実施計画による 3 年間の取り組みでは、

- ・事業費については、基本目標全体ではほぼ計画どおりの執行となったが、『危機管理・消防』『交通安全』『道路・交通』『商工業』では、計画を下回った。
- ・市民満足度については、第一次実施計画終了時点から上昇または横ばいとなっているが、『交通安全』『道路・交通』『住宅・住環境』『商工業』の満足度は低くなっている。
- ・今後は、都市基盤のなかでも『交通安全』『道路・交通』の分野を引き続き着実に推進していく必要がある。また、安全で安心して暮らせるまちづくりに対する市民のニーズは高く、『危機管理・消防』『治水』『防犯』の分野については、必要な事業を推進していく必要がある。

基本目標 4 人と自然が共生するまち

基本目標 4 人と自然が共生するまち

施策の方向 1

自然を大切にし、やすらぎと潤いのあるまちをつくれます

(大分類) 3 1 自然環境

(大分類) 3 2 公園・緑地

(大分類) 3 3 河川・水辺

施策の方向 2

環境への負荷の少ないまちをつくれます

(大分類) 3 4 地球環境

(大分類) 3 5 生活環境

施策の方向 3

廃棄物の発生を抑制し資源循環型のまちをつくれます

(大分類) 3 6 資源循環型社会

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
31 自然環境	63.9% (↑14.1%)	22.5% (↑0.5%)	13.5% (↓14.7%)	22.5% [5位]
32 公園・緑地	52.8% (↑3.1%)	37.1% (↑12.0%)	10.1% (↓15.0%)	42.3% [2位]
33 河川・水辺	59.6% (↑10.9%)	24.1% (↑0.9%)	16.3% (↓11.8%)	25.1% [3位]
34 地球環境	29.1% (↓13.1%)	56.5% (↑26.0%)	14.5% (↓12.7%)	18.4% [6位]
35 生活環境	59.3% (↑10.9%)	32.2% (↑3.0%)	8.7% (↓13.8%)	54.1% [1位]
36 資源循環型社会	66.2% (↑0.9%)	26.6% (↑8.2%)	7.2% (↓9.2%)	23.3% [4位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
8,101	5,361	66.2%	61 自然環境推進事業	A	D	B
320,436	284,244	88.7%	62 ガーデニング・シティ いちかわ事業（整備）	D	C	D
			63 国分川調節池上部活用事業	A	A	A
0	0	-	64 三番瀬保全再生	A	-	B
103,296	74,415	72.0%	65 住宅用太陽光発電システム 設置助成事業	D	D	D
			66 住宅用省エネルギー設備 導入促進事業	D	A	D
164,188	160,727	97.9%	67 大気常時監視整備事業	A	A	A
			68 市民マナー条例推進事業	A	A	C
6,198,651	6,378,150	102.9%	69 ごみ発生抑制等啓発事業	A	A	B
			70 分別収集促進事業	A	A	B
6,794,672	6,902,897	101.6%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標4に位置付けられた施策の大分類に対する「満足している」割合は、『34 地球環境』を除き、50%以上となり、平成25年度におこなった前回調査よりも上昇する結果となった。

『34 地球環境』については、「満足している」割合が約30%と低く、前回調査よりも約13ポイント下降している。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標4の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『35 生活環境』『32 公園・緑地』の順に高く、推進すべきという回答が約40%以上となった。

特に、『35 生活環境』については、現在の満足度が約60%と比較的に高い結果となっているが、今後さらに推進すべきという市民の意向もあることが分かった。

一方で、『34 地球環境』については、現在の満足度が約30%と低いものの、今後推進すべきという回答は約18%と低い。現状では、満足度が低い一方で、今後の推進が必要という市民の意向は高くないということが確認できた。

■ 事業費

【全体の傾向】

基本目標4全体での執行率は、101.6%と概ね計画通りの執行となった。

このうち『31 自然環境』において執行率66.2%、『34 地球環境』において執行率72.0%と、計画を下回った。

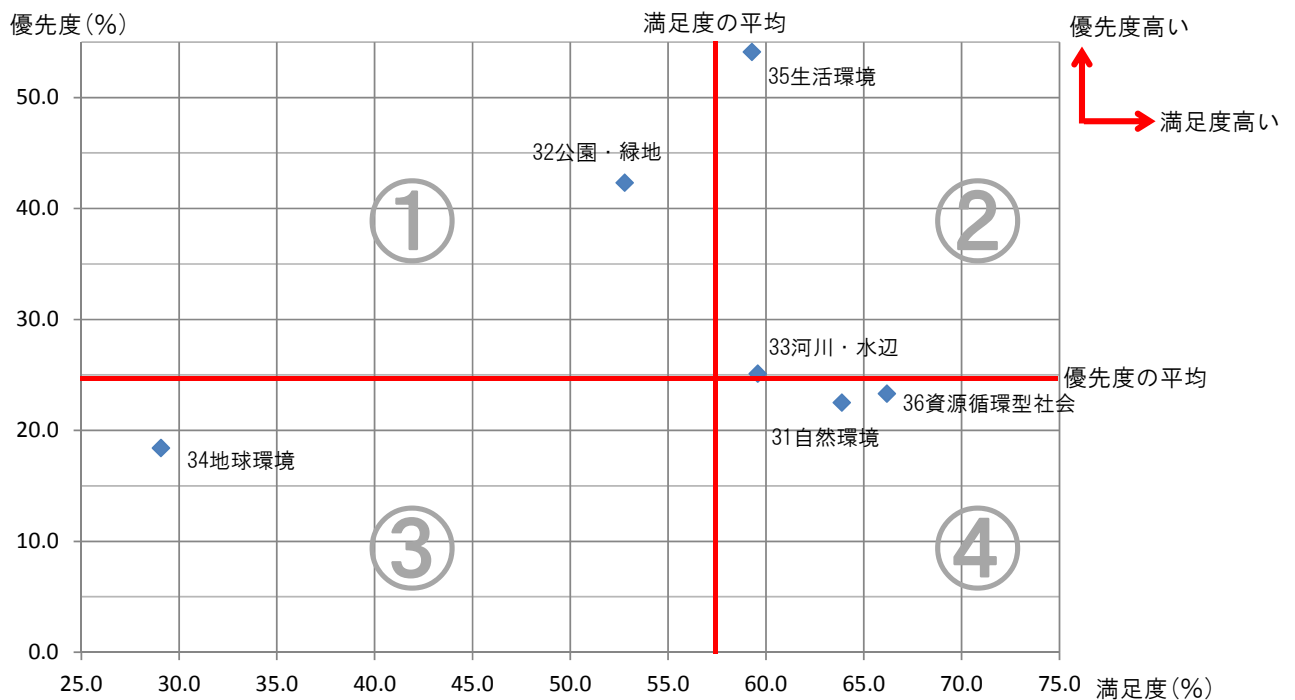
【事業費が低くなった施策】

『31 自然環境』において、生物多様性の保全などを目的として、自然環境の実態把握とモニタリング調査を行ったが、当初予定していた調査方法などを精査したこと、

また、『34 地球環境』において、住宅用太陽光発電システムの設置助成をおこなったが、国による補助事業の受付が平成25年度で終了となったこと、また消費税の引き上げの影響などにより、申請件数が当初の見込みに到達しなかったことなどから、事業費が当初の計画を下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図 4 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策の満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

○満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%

○優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先が高い）】

『32 公園・緑地』については、第二次実施計画で位置付けた事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度が低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向が高い結果となっている。公園・緑地の整備にかかる市民のニーズを的確に把握しながら、事業を進めていく必要があるといえる。

【エリア②（現時点で施策の満足度は高いが、今後の優先も高い）】

『35 生活環境』については、現在の満足度は比較的高い結果となっているが、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。市民の意向を踏まえながら、引き続き、事業の充実を図っていく必要があるといえる。

【エリア③（現時点で施策の満足度が低い、今後の優先度も低い）】

『34 地球環境』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、現在の満足度は、前回調査よりも低下し、全体の満足度と比較して低い結果となった。

しかし、今後重点的に推進すべきという市民の意向は低いことから、市民ニーズや行政課題への対応を見極めながら事業展開を検討していく必要があるといえる。

■基本目標4 人と自然が共生するまち 3カ年総合評価

『人と自然が共生するまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、

- ・事業費については、多くの施策分野で計画どおりの執行となり、基本目標全体でもほぼ計画どおりとなった。
- ・市民満足度については、事業の推進等によって、第一次実施計画終了時点よりも概ね向上が図られた。
- ・今後は、市民のニーズを把握しながら『公園・緑地』『生活環境』の分野について充実を図っていく必要がある。

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

施策の方向1

市民と行政とのパートナーシップのもとでまちをつくります

(大分類) 3 7 協働・市民参加

(大分類) 3 8 情報の発信・提供

施策の方向2

まちづくりのための新しいコミュニティをつくります

(大分類) 3 9 地域コミュニティ・市民活動

施策の方向3

分権時代にふさわしい行財政運営を推進します

(大分類) 4 0 政策展開

(大分類) 4 1 行政体制

(大分類) 4 2 窓口・相談機能

(大分類) 4 3 財政運営

(大分類) 4 4 広域行政

施策の方向4

情報通信技術を市民生活の向上に活かします

(大分類) 4 5 情報化

■ 施策の状況

大分類	市民意向調査結果 (()内は前回調査結果からの増減、[]内は調査結果の順位)			
	満足	不満足	わからない又は どちらともいえない	今後重点 すべき施策
37 協働・市民参加	65.3% (↑12.7%)	14.7% (↓4.1%)	20.0% (↓8.6%)	25.7% [6位]
38 情報の発信・提供	63.5% (↑4.7%)	19.0% (↑4.5%)	17.4% (↓9.3%)	39.9% [2位]
39 地域コミュニティ・市民活動	39.6% (↓13.9%)	44.7% (↑20.2%)	15.7% (↓6.4%)	30.3% [4位]
40 政策展開	59.8% (↑11.5%)	20.5% (↑3.1%)	19.8% (↑14.5%)	16.6% [8位]
41 行政体制	59.7% (↑17.5%)	19.6% (↓3.7%)	20.6% (↓13.9%)	34.8% [3位]
42 窓口・相談機能	69.8% (↑10.9%)	17.3% (↓1.8%)	13.0% (↓8.9%)	47.3% [1位]
43 財政運営	72.8% (↑19.5%)	16.1% (↓1.0%)	11.2% (↓18.4%)	26.8% [5位]
44 広域行政	63.6% (↑13.1%)	17.3% (↑1.2%)	19.2% (↓14.3%)	13.1% [9位]
45 情報化	56.4% (↓1.5%)	25.8% (↑10.5%)	17.7% (↓9.0%)	19.7% [7位]
				合計

事業費			(参考) 実施計画事業 達成状況等			
計画額 (千円)	実績額※ (千円)	執行率	事業名	数値目標 等比較	事業費 比較	市民意向 調査結果
0	0	-	71 大学との連携	A	-	A
5,538	4,935	89.1%	72 インターネット放送局運営事業	A	B	B
3,000	1,764	58.8%	73 自治会総合支援事業	C	D	D
37,266	33,569	90.1%	74 職員研修事業	A	A	B
0	0	-	75 民営化推進事業	A	-	B
45,060	36,412	80.8%	76 総合市民相談・案内事業	A	B	A
287,454	297,002	103.3%	77 納税環境整備事業	A	A	A
450	450	100.0%	78 広域行政推進事業	A	A	A
451,778	421,113	93.2%	79 個人番号制度に対応するための基幹系システム改修事業	A	A	B
830,546	795,245	95.7%				

※事業費の実績額は、平成 26, 27 年度は決算額、平成 28 年度は当初予算額の計

■ 市民意向調査結果

【満足度の傾向】

基本目標5に位置付けられた施策の大分類に対する「満足している」割合は、『39 地域コミュニティ・市民活動』『45 情報化』を除き、約60%と比較的高く、平成25年度におこなった前回調査よりも概ね10ポイント以上上昇する結果となった。

なお、『39 地域コミュニティ・市民活動』については、「満足している」割合が約40%と低く、前回調査よりも約14ポイント下降している。

【今後重点的に推進すべき施策】

基本目標5の達成にむけ、今後重点的に推進すべき施策としては、『42 窓口・相談機能』『38 情報の発信・提供』の順に高く、推進すべきという回答が約40%以上となった。

また、『39 地域コミュニティ・市民活動』については、現在の満足度が約40%と全体より低い結果となったことから、今後重点的に推進すべきという回答も約30%と比較的高い結果となった。

■ 事業費

【全体の傾向】

基本目標5全体での執行率は、95.7%と概ね計画通りの執行となった。

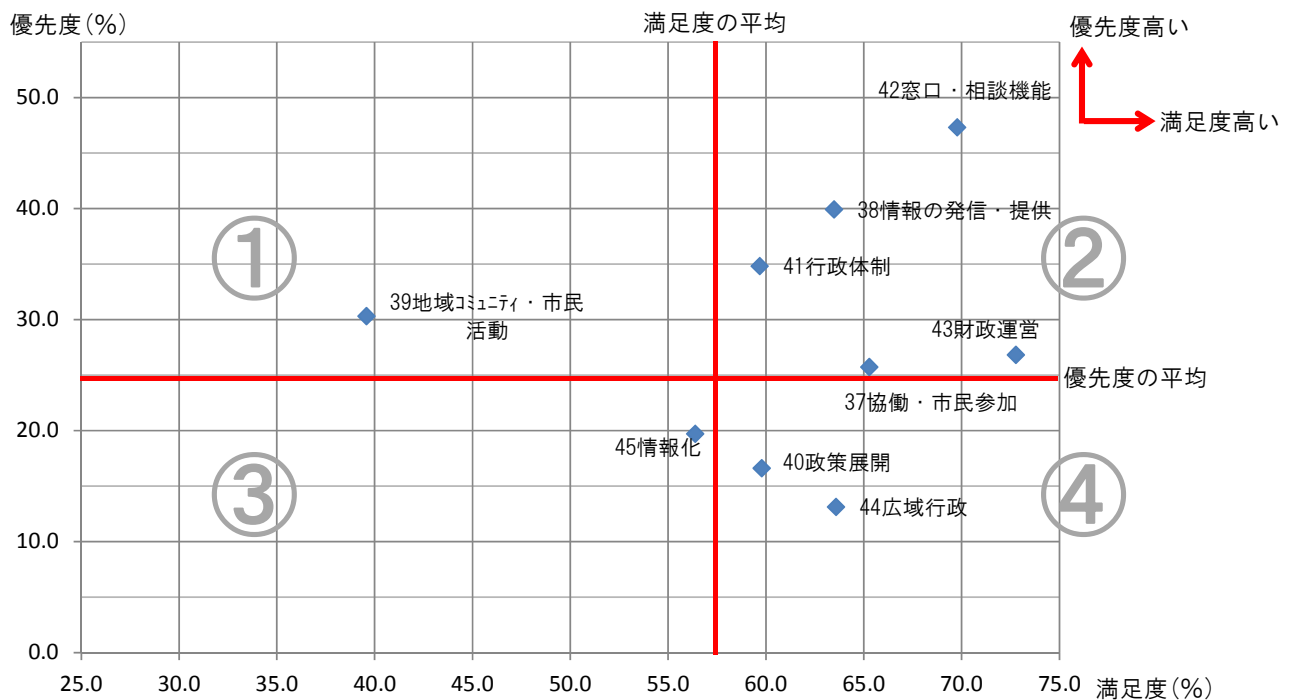
このうち『39 地域コミュニティ・市民活動』において、執行率が58.8%と、計画を大きく下回った。

【事業費が低くなった施策】

『39 地域コミュニティ・市民活動』において、自治会加入促進のため経費を精査したことなどから、事業費が当初の計画を大きく下回った。

■ 次期実施計画策定にむけて考慮すべきポイント

図5 市民意向調査結果から 施策の満足度×今後重点すべき施策（優先度）



■ 施策の満足度×今後重点すべき施策 プロットエリアの見方

市民意向調査の結果、45の施策の大分類について、満足度および優先度（今後重点すべき）の平均値を基準とし、各施策の満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけとなっているかプロットしたもの

○満足度 45の施策の大分類について、満足と回答した割合の平均値 = 57.8%

○優先度 45の施策の大分類について、今後重点すべきと回答した割合の平均値 = 24.5%

【エリア①（現時点で施策の満足度が低く、今後の優先が高い）】

『39 地域コミュニティ・市民活動』については、第二次実施計画において事業費の執行が計画を下回ったこと、また、事業が計画どおり達成できなかったことなどもあり、市民の満足度が低く、また、重点的に推進すべき施策であるという市民の意向も高い結果となった。このため、第三次実施計画では、さらに、重点的に、事業を推進していく必要があるといえる。

【エリア②・エリア④】

『39 地域コミュニティ・市民活動』を除き、基本目標5に位置付けられた大分類の施策については、計画どおり事業を推進することができたこともあり、全般的に満足度が約60%以上と高い傾向となった。

■基本目標5 市民と行政がともに築くまち 3カ年総合評価

『市民と行政がともに築くまち』の実現に向けた、第二次実施計画による3年間の取り組みでは、

- ・事業費については、多くの施策分野で計画どおり執行し、基本目標全体でもほぼ計画どおりとなった。
- ・市民満足度については、『地域コミュニティ・市民活動』を除き、第一次実施計画終了時点よりも向上が図られ、全体的に高くなっている。
- ・今後は、市民の優先度の高い『地域コミュニティ・市民活動』を重点的に取り組む必要がある。